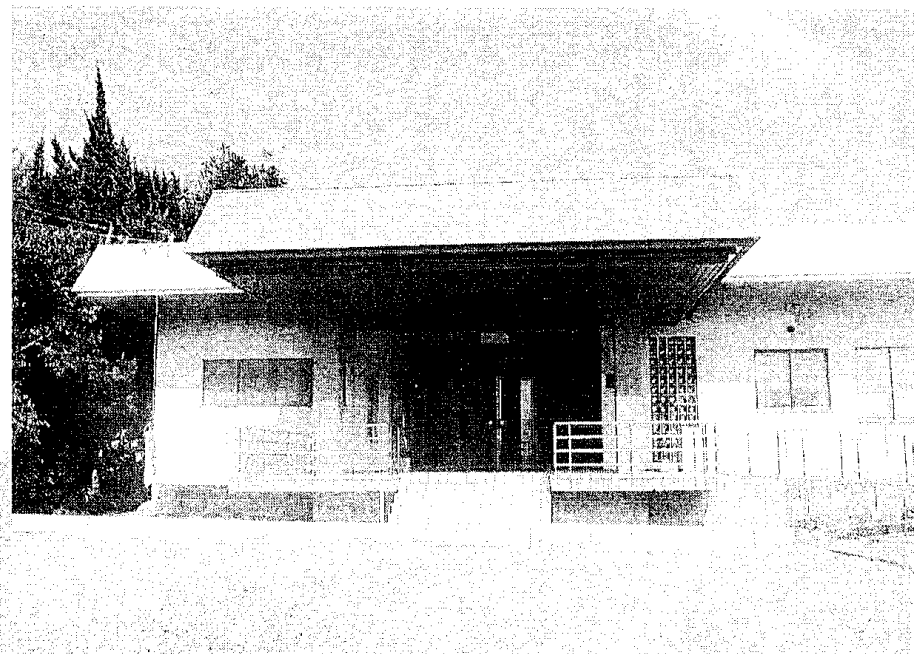


へき地保健医療対策検討会
第3回(H17. 3. 31)

資料 2

長崎県提出資料

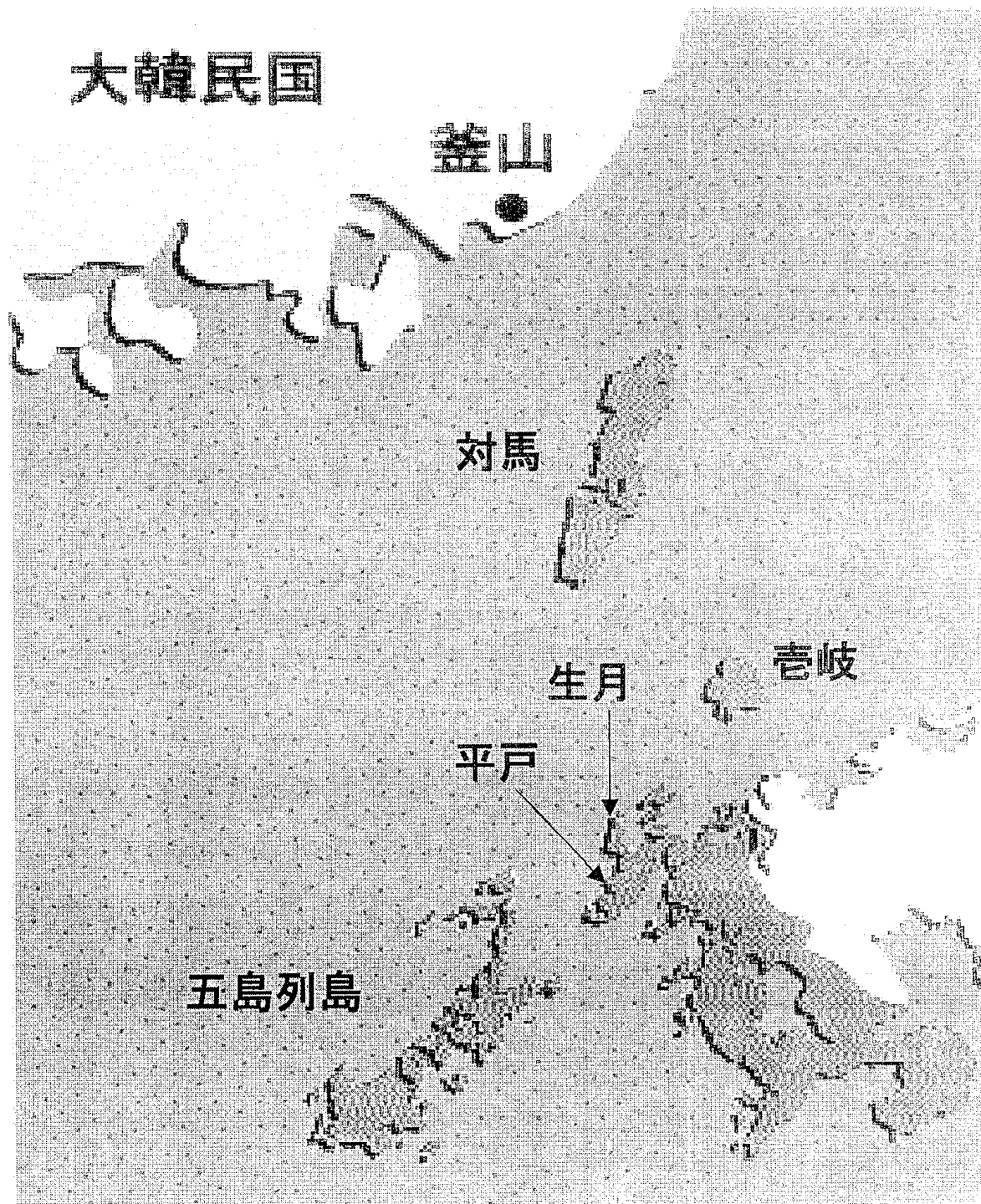
長崎県における 離島・へき地医師 確保対策について



長崎県全図

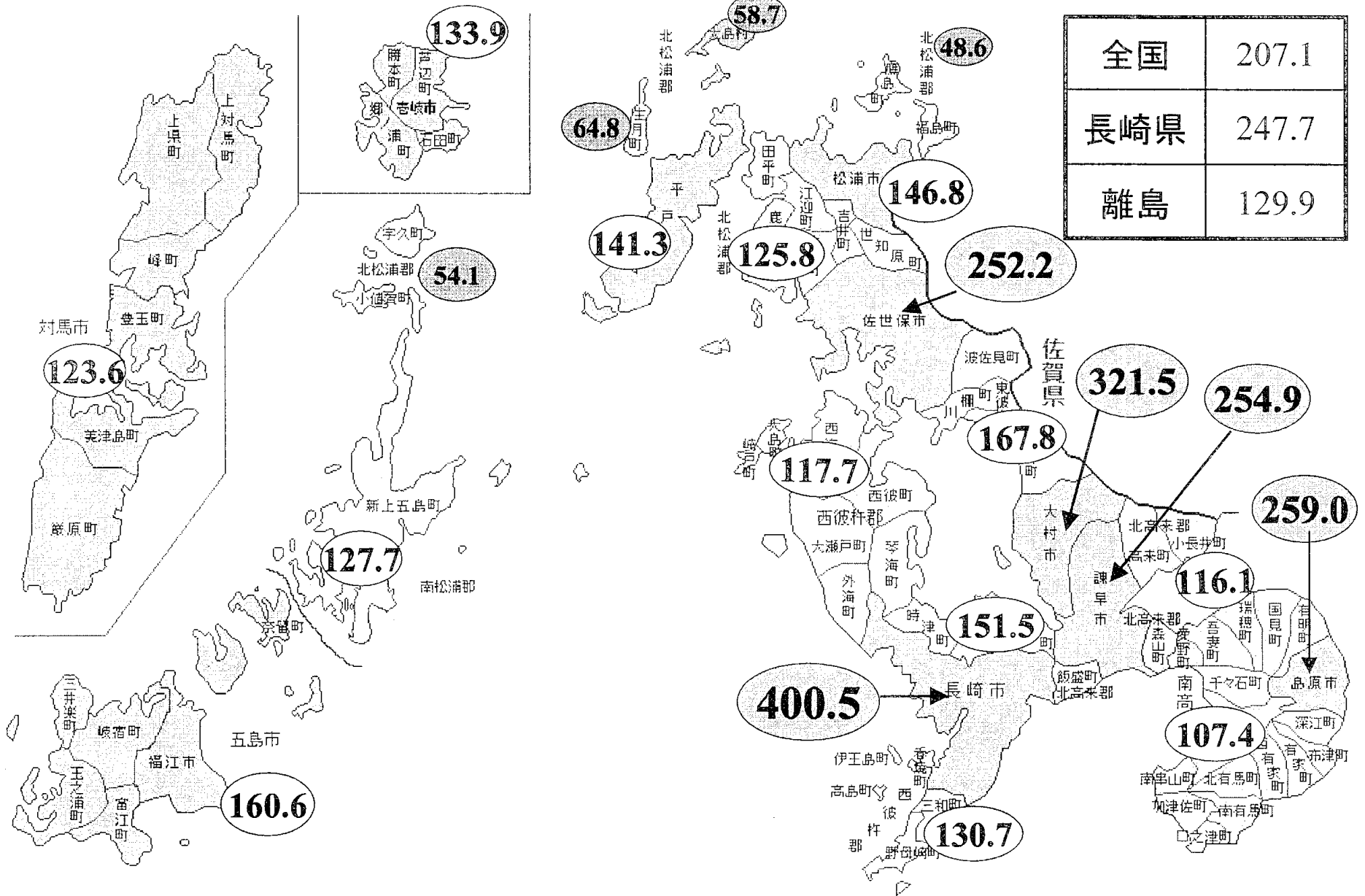
長崎県離島医療のkey word

- 長崎県離島医療圏組合
- 長崎県離島医療医師の会
(もくせい会)
長崎県医学修学生
自治医大
- 離島へき地医療支援センター
- 離島医療学講座
(離島医療研究所)

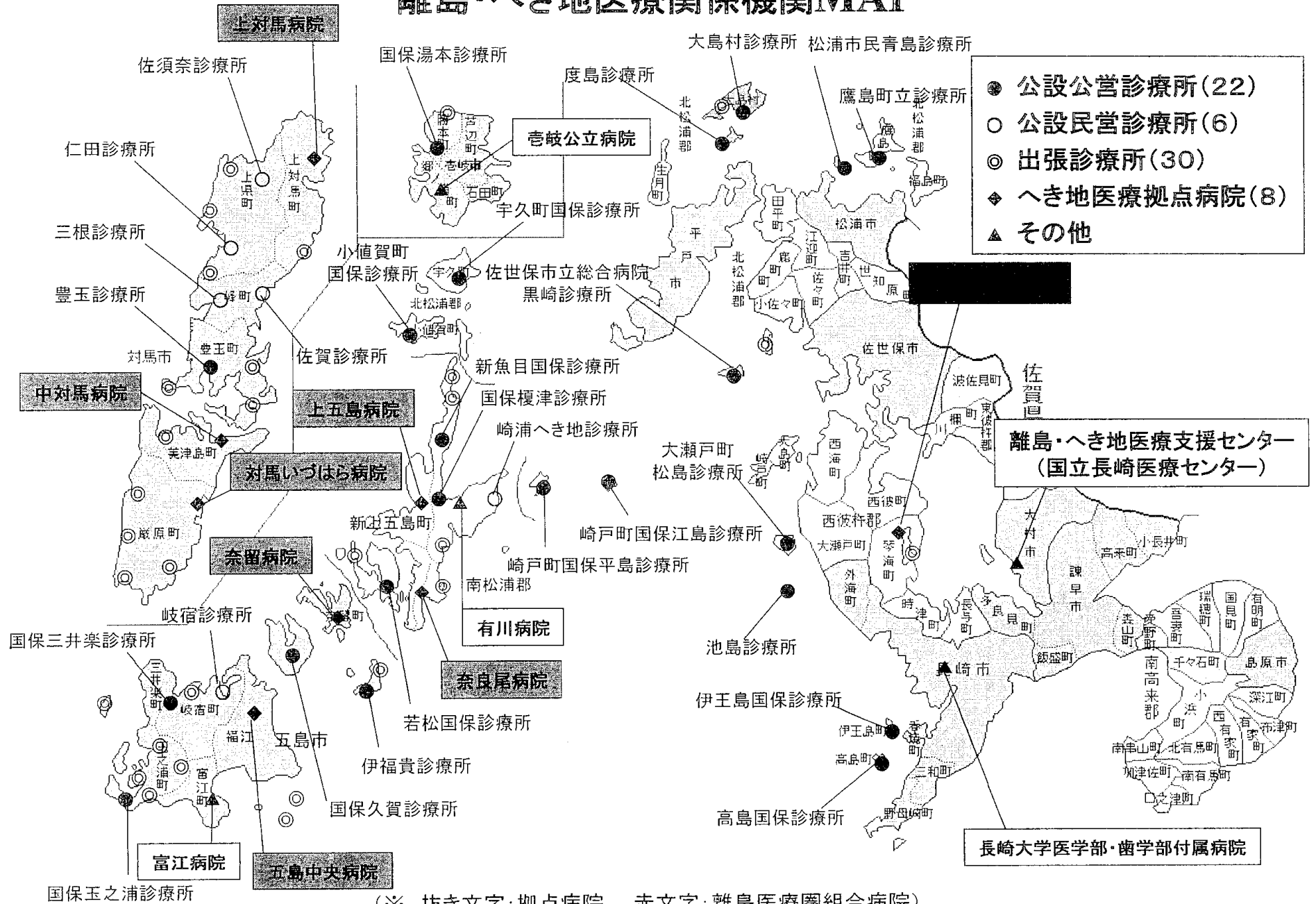


長崎県医師数(人口10万対)

(長崎県医療統計:H14.12.31)



離島・へき地医療関係機関MAP



- 公設公営診療所(22)
- 公設民営診療所(6)
- ◎ 出張診療所(30)
- ◆ へき地医療拠点病院(8)
- ▲ その他

離島・へき地医療支援センター
(国立長崎医療センター)

長崎大学医学部・歯学部付属病院

国保玉之浦診療所

(※ 抜き文字: 拠点病院 赤文字: 離島医療圏組合病院)

長崎県離島・へき地医療支援センター

長崎県における離島・へき地医療施策の推移

昭和20年代 保健船による巡回診療

昭和30年代 へき地診療所の建設と
大学病院等の協力による巡回診療の充実

「医療圏構想」
(昭和35年～)

大離島における
病院中心の施策

→2.9次医療までは
島内完結

※心臓外科手術、脳外科手術、
未熟児対応等の特殊高度医
療以外は島内完結

昭和40年代 基幹病院の整備と医師の養成

昭和43年 離島医療圏組合 設立

昭和45年 医学修学資金貸与制度 創設

昭和47年 自治医科大学派遣制度 創設

昭和53年 県養成医師離島勤務 開始

今日の課題 離島部の診療所の医師確保

平成16年4月1日 離島・へき地医療支援センター
設置

今後の課題 本土過疎地域の公的病院の医師確保

平成17年4月～ 医師研修資金貸与事業
専門医養成プログラム等調査検討事業 創設

長崎県のへき地医療支援機構推進事業

【背景】平成15年4月「長崎県へき地医療支援機構」を設置。

〔へき地医療拠点病院指定：8病院(本土部1、離島部7)
代診医師派遣等の事業が実施できる体制〕

当県の最大の課題：離島部の診療所の常勤医師の確保そのもの。

→ 県独自の強化策として新たに平成16年度に

“へき地医療支援機構推進事業” を創設。

事業内容

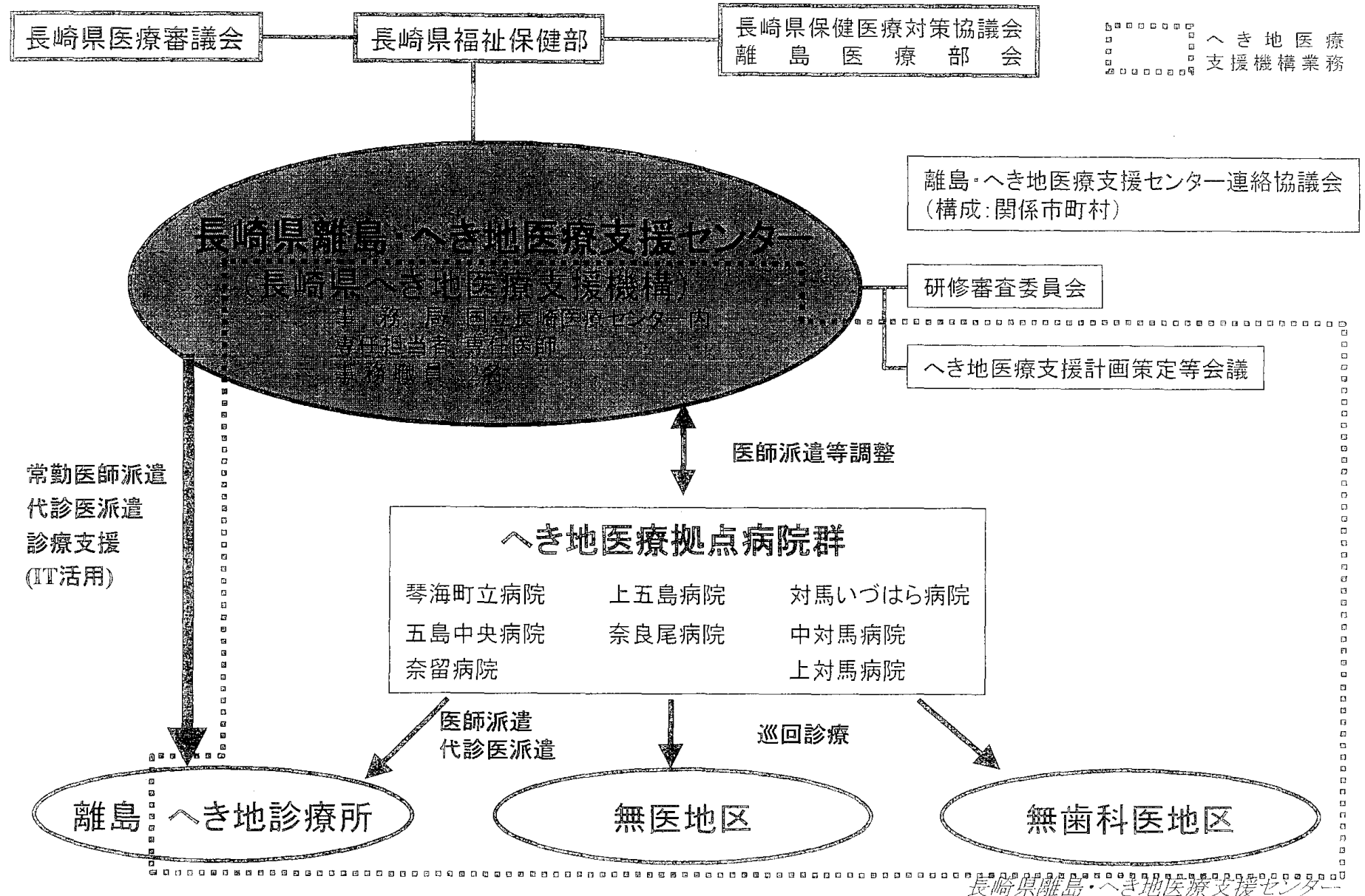
① 長崎県離島・へき地医療支援センター

県庁健康政策課内の「離島医療支援班」として新設。

② 寄附講座「離島・へき地医療学講座」

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科(医療科学専攻)
に長崎県および五島市の寄附により開講。

長崎県離島・へき地医療支援センターによる支援体制



主な業務

1. 常勤医師派遣

派遣要請のあった離島の市町村立診療所へ、
医師を県職員として採用し派遣する
原則的には、年2回市町村に対し要望調査を行う

2. 代診医派遣

派遣要請のあった市町村立診療所へ、
代診医として出張診療する

3. 医療支援

IT、電話、FAX等活用し、診療所からの診療相談に応じる
(医療センターの専門医の協力を得る)
診療応援にも応じる

4. へき地医療支援機構業務

へき地医療拠点病院に指導・助言を行い、へき地診療所等を
支援する他、離島・へき地医療支援計画を策定する等、
離島・へき地医療の支援を行う

派遣医師のメリット

- 県職員として採用

給与：市町村の給与規定により、市町村が支給

診療所勤務期間：1,600万円程度／年（免歴10年）

[離島医療圏組合病院医師と同水準]

自主研修期間：1,200万円程度／年（同上）

[長崎県の医療職と同水準]

退職手当：県の規定により、県が支給

- 有給の自主研修を保証

原則として、2年間を単位として、1年半の離島勤務後、半年間の有給の自主研修を保証。

これを繰返す。

3年間離島勤務し、1年間自主研修でも可。

- 24時間365日支援

支援センター専任医師が、長崎医療センターの協力のもと、いつでも派遣医師の相談に応じる。

事業経緯

	医師募集関係	代診関係
H16/04/01 支援センター開所	H16/04/12 医師1名採用・派遣(小値賀町診療所)	
H16/04/26 開所式開催	H16/5月 第2回医師募集	
H16/4~5月 離島診療所 現地視察	医師1名採用 (8/1より小値賀町に交代派遣)	H16/7月~ 代診・診療応援開始
H16/06~ 診療相談事業開始	H16/6~7月 市町村要望調査	H16/07/01~02 小値賀診療所 診療応援
H16/6~7月 二次医療圏別 実態調査	H16/07/27~ 平成17年度医師募集開始	H16/07/24~25 小値賀診療所 診療応援
	H16/09/4,5 募集説明会開催	
	H16/10/2,3 採用試験	
	H16/10/08 医師2名採用	
	H17/01/04 医師1名派遣(長崎市池島診療所)	H16/10/21~23 大島村診療所代診
	H17/04/01 医師1名派遣(宇久町診療所)	

医師募集状況(平成16年1月～10月)

◆問い合わせ総数：約50名

◆応募者総数：8名

◆条件付き(後任者の決定等) 応募希望者：10余名

◆応募者および応募見込み者：約20名

◆医師たちのプロフィール：

開業医、救急病院の勤務医、元大学教授と様々。

年齢は30前半から70歳代までと幅広く40歳代から50歳代が約半数。

本事業への参加動機としては、いずれも離島における地域医療への高い関心を示している他、多くの医師が県の全面的バックアップに対する安心感を挙げており、半数の10名が長期自主研修が魅力であると述べている。

離島医療圏組合病院常勤医師数の推移

